

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

## 1. 建物概要

建物名称	(社福)儀平会 徳蓮荘	
建設地	東区	
用途地域	準工業地域	
建物用途	病院,	
竣工年	2011年1月 予定	
敷地面積	2,039 m <sup>2</sup>	
建築面積	1,174 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,157 m <sup>2</sup>	
階数	地上2F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2010年5月20日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{50}{46} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.7		バリアフリー	3
			維持管理	5
			更新性	3
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	3
			信頼性	3
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	2
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3
			自然エネルギー利用	3
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	3
			リサイクル材の使用	3
			再利用可能性向上	3
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	2
			敷地内温熱環境の向上	4
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.5		まちなみ・景観への配慮	3
			地域性への配慮、快適性の向上	4

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

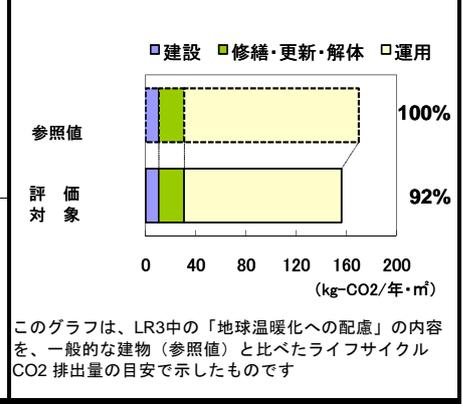
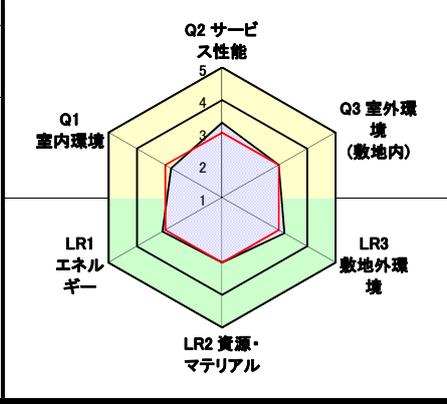
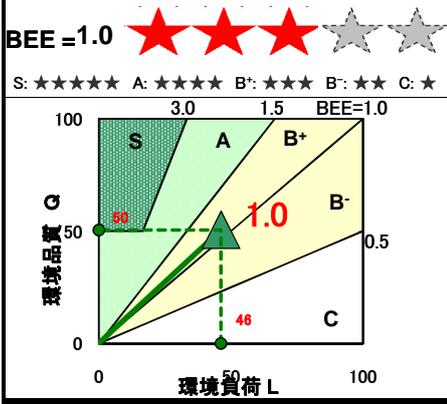
- 長寿命化へ: 間仕切壁は全て非耐力壁ですので将来の間仕切変更が容易です。又設計はバリアフリーで建材の耐久性もあります。
- 地震へ: 鉄骨造ですので自重の重いRC造より地震には強いですが。又内部の棚類扉は耐震ロック付としています。
- 大雨へ: 舗装は透水性とし植栽スペースは植物のためにも雨水を含みやすい土とします。
- 自然エネルギーへ: 外皮部分の断熱性を高めました。風通しを良くして冷房エネルギーの使用を抑えます。
- 資源循環へ: 生ゴミや廃草木は堆肥化し構内の花木に使います。
- 水と緑を活かす: 構内に多くの植栽を行い入居者と周辺住民に「うるおいある環境」感を提供します。
- 新潟らしさのあるまちづくり: この建物の主テーマは老人と障害者と、健康者と、付近住民の有機的共生です。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

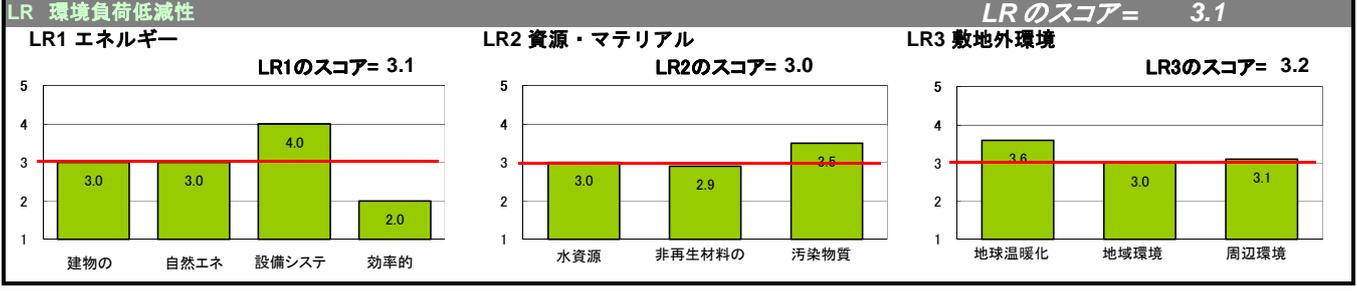
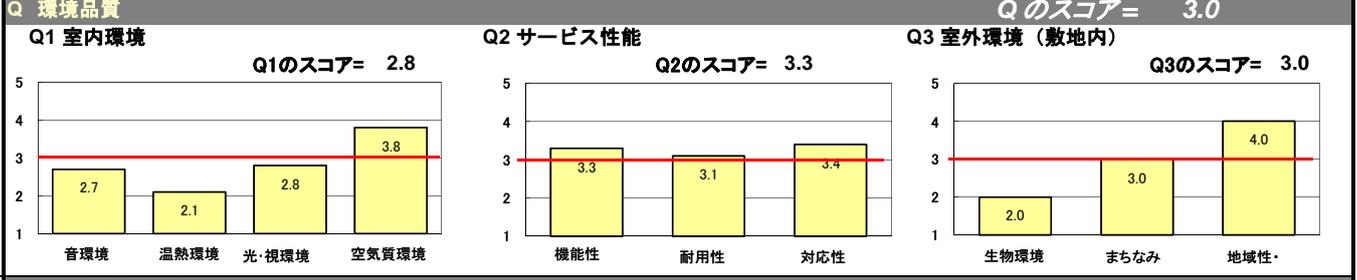
# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果内訳 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

**2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)** | **2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**



**2-4 中項目の評価 (バーチャート)**



**2-5 設計上の配慮事項**

<b>総合</b> この建物は老人27人(1階)と知的障害者38人(2階)が住む「家」ですので、その住人達が「地震や火災に対し安全で、健康的な環境の家で、あったかい食事を食べ、清潔なお風呂に入り、入居者相互が適度なコミュニケーションがとれる」等、楽しく快適な生活が出来得る空間構成としました。		<b>その他</b> 準工業地域であるため極端に緑の少ないエリアでの立地です。この建物での植栽が緑、花、実、紅葉、飛鳥等でこのエリアに「うるおいのある環境」を創り出せれば良いと思います。
<b>Q1 室内環境</b> 家ですので十分な外光が入り、自然の風が通り抜ける平面計画としました。又、屋根、外壁(サッシ共)、床ともに断熱性の高い構成とし、特に各居室の窓には庇を設け、小雨の時は窓が開けられるようにしました。	<b>Q2 サービス性能</b> 介護サービスのしやすい室や設備の配置、独自メニューでの食事の提供、障害者寮での生活サポート。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 構内の必要なエリアに果樹を含む充分な植栽をした。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能のUP、自然の通風と採光の確保、照明器具の不用点灯防止。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・ 建築の構成部材として腐りやすい材料を使用しない。 ・ 生ゴミや廃草木は構内で堆肥化し、庭木や家庭菜園で使用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・ 北側隣家への日影を配慮した平面計画。高さが突出ないように2階建て。 ・ セビア系の落ち着いた外壁色。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される